

# 森林土木工事における総合評価落札方式の見直し (平成26年度)

## ◎ 技術提案の履行確認について

技術提案書により提案された技術提案は全て履行することとなりました。  
(過大な提案や仕様書等にそぐわない提案については、不採用となります。)

◎ 工事において、専任の主任技術者を配置する場合、これまで同一の専任の主任技術者が2以上の工事を兼ねることが出来る距離が、5kmから10kmに変更となりました。

◎ 本年度から、受注者の施工体制の確保及び建設資材の確保を図るため、余裕期間を見込んだ工事が発注されることがあります。余裕期間内の技術者の配置は要しないこととなっています。

◎ 現在パソコンのウィンドウズXP問題により、新しいパソコンの更新されることがありますが、農林水産省電子入札システムは、Windows 8以上及Internet Explorer 11は使えません。

# 森林土木工事における総合評価落札方式の見直し (平成26年度)

## 技術提案の履行確認について

技術提案書により提案された工程表や技術所見について、全て実行して頂き、履行確認することとなりました。(不採択項目は除く)

過大な出費等を伴う提案や仕様書等で求める基準を満たさないような提案、又は、実行することにより危険を伴う提案などは、不採択とします。

### 簡易型総合評価落札方式 (入札説明書 8-(3)-2)

#### ①簡易な施工計画に関する事項

提出された工程表及び技術的所見の記載内容について、工期の設定の適切性、工事の実施手順の妥当性、現場条件への対応、安全対策等、課題への対応の現場条件を踏まえた的確性、優位な工夫等を評価する。

また、簡易な施工計画は発注者が示す仕様に基づく施工における技術的所見を求めているものであり、当該仕様書を超える対策は求めている。

なお、当該仕様書を超える対策を提案し、採用された場合は請負者の負担とする。

(例1)

# 技術提案書 工程表作成の注意点

様式5  
(用紙A4横)

## 施工計画上の考慮事項

### 工 程 表

○ 閲覧図書の工事数量内訳書のとおり記入すること。

工事名： ○○溪間工事

(項目をまとめたらダメ)

会社名： (株)○

項 目	単 位	数 量	9 月		10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		月		備 考
			10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	
第1号コンクリート谷止工	式	1																	
第2号コンクリート谷止工	式	1																	
仮設工	式	1																	
準備工、整理工	式	1																	
* 共通仮設にコンクリート処理費や産廃処理費があれば記入																			

※ 工期設定・実施手順に係わる技術的所見及び現場条件への対応、安全対策等への工夫

\* 安全対策等について、具体的な事項が記入されていない。

○/○

( 例 2 )

# 技術提案書 工程表作成の注意点

(用紙A 4横)

## 施 工 計 画 上 の 考 慮 事 項

### 工 程 表

工事名：○○溪間工事

会社名：(株)○○

○ 作業手順の間違が多い(特に間詰型枠と間詰コンクリートの間違が多い)

項 目	単 位	数 量	12月		1 月		2 月		3 月		月		月		月		備 考	
			10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20		
準備工	式	1.00	██															
コンクリート谷止工	基	1.00	██		██		██		██									
コンクリート	m <sup>3</sup>	1500.00	██		██		██		██									
丸太残存型枠	m <sup>2</sup>	553.60	██		██		██		██									
コンクリート残存型枠	m <sup>2</sup>	557.30	██		██		██		██									
一般型枠	m <sup>2</sup>	4.80					██			██								
水抜	式	1.00			██													
止水板	式	1.00			██	██		██										
間詰コンクリートA	m <sup>3</sup>	6.10			██	██		██										
間詰コンクリートB	m <sup>3</sup>	11.30					██		██									
間詰残存型枠	m <sup>2</sup>	38.40	██		██		██		██									
木製筋工	m	12.30					██											
植生マット伏工	m <sup>2</sup>	36.20					██		██									
堤名板	枚	1.00					██											
																		計画工期 自 契約締結の翌日から 至○○年○○月○○日

※ 工期設定・実施手順に係わる技術的所見及び現場条件への対応、安全対策等への工夫

確実に年月日を記入すること。  
工期280日等はダメ  
工期の未記入もダメ

技術提案書の添付様式を様式7から様式3に変更しました。(競争参加資格確認申請書と同じ様式3を添付してください。)

様式3

配置予定の技術者の状況

会社名

項目	氏名	(主任技術者名) ○ ○ ○ ○	
最終学歴		○○大学○○学科 年卒業	
土木工事に関する実務経験年数		年	
法令による資格		一、一級土木施工管理技士、一、一級建築機械施工技士、技術士(森林土木) 林業技士(森林土木部門)等 (取得年月日、登録番号)	
工事経験の概要	工事名		
	発注機関名		
	施工場所	(府県名・市町村名)	
	契約金額		
	工事役職	平成 年 月 ~ 平成 年 月	
	工事内容(工種)	現場代理人・監理(主任)技術者	
	受注形態等	単体 / 共同企業体(出資比率)	
CORINS登録の有無	有(CORINS登録番号) ・ 無		
申請における他の状況	工事名		
	発注機関名		
	工事役職	平成 年 月 ~ 平成 年 月	
	本工事と重複する場合の対応措置	現場代理人・監理(主任)技術者	
CORINS登録の有無	例) 本工事に着手する前の○月○日から後片づけ開始予定のため本工事に従事可能		
CORINS登録の有無	有(CORINS登録番号) ・ 無		
ヒアリング対象者			
本店・営業所の専任技術者		専任技術者 △ △ △ △	

- (備考) 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4とする。
- 2 申請時における他の工事の従事状況は、従事しているすべての工事について、本工事を落札した場合の技術者の対応措置等を記入すること。なお、配置予定技術者として複数の候補技術者を記載できる。
- 3 工事経験の概要については、平成11年4月1日から平成26年3月31日までの間に完成・引渡し完了した同種工事の施工実績を有する代表的な1件を記入する。ただし、同種工事の要件が複数(例:「林道の新設工事(林道規格2級以上)及び「治山事業(溪間工事又は山腹工事)」の場合は、要件毎にそれぞれ1件、経験を記載すること(一方の要件に係る経験のみ記載の場合は同種工事の経験等と見なさない)ので注意すること。ただし、同一工事で複数の要件を満たした場合は、その工事1件でよい。配置予定技術者の工事経験については、①施工経験としての記載した工事に係る契約書の写し、②同種工事が確認できる書類の写し、③監理技術者、主任技術者として従事したことが確認できる書類の写し(施工計画書等で従事実績が確認できる部分)を添付すること。なお、当該工事がCORINSに登録されており、その内容が①、②、③を確認できる場合は、工事カルテの写し(①、②、③が確認できる部分)を施工計画とすることができるとして記載すること。
- 4 森林管理局長等が発注した同種工事で、平成17年10月1日以降に完成・引渡し完了した工事については、工事成績評定通知書の写しを添付すること。ただし、工事成績評定点が6.5点以上のものに限る。
- 5 配置予定技術者が有する資格について確認できる資料を添付すること。
- 6 施工体制確認のためのヒアリング対象者については、ヒアリング資料の対象者欄へ「○」を記入すること。
- 7 本店・営業所の専任技術者として登録された氏名が確認出来る○/○